

新年互礼会に約 70 人が出席

職人の処遇改善に向け努力 今年 1 年を明るく元気に

関西鉄筋協工業同組合（岩田正吾理事長）の「平成 26 年新年互礼会」が 1 月 9 日、大阪市北区のリーガロイヤルホテルで開催されました。互礼会には来賓、組合員企業や賛助会員など約 70 人が出席し、新しい年のスタートを祝福するとともに、今年 1 年の組合の一層の飛躍をめざすことなどが誓い合われました。

岩田理事長は冒頭の挨拶で「これまでの出前講座の開催や建設技術展への出展などを通じた広報活動が着実に実を結び始めている。一方、職人の不足は深刻化しており、今後は元請の労務需要に応えられる会社だけが生き残れる。信頼される労務職の団体として、社会保険の問題も含め職人の処遇改善に一層努力していきたい。今年 1 年を皆さんと一緒に明るく、元気にがんばっていこう」と新年の決意を述べました。

この後、新規入会者の山本建設㈱（大阪市東成区、山本英昭社長）の紹介と、来賓を代表して中山泰秀・衆議院議員が祝辞を述べたのに続き、田浦真一副理事長の発声で出席者全員が力強く乾杯して祝宴へと移りました。和やかな歓談の輪が広がる中、賛助会員の紹介なども行われ、最後に戸田裕雄副理事長の大阪締めで閉会となりました。

